

京都市告示第370号

京都市名誉市民表彰条例の規定に基づき、令和5年10月15日付けで次の者を京都市名誉市民として表彰しました。

令和5年10月16日

京都市長 門川大作

氏名 上村 淳 (雅号 上村淳之)

1 略歴

昭和27年3月 京都府立鴨沂高等学校卒業

昭和28年4月から

京都市立美術大学（現京都市立芸術大学）日本画科

昭和32年3月まで

昭和34年3月 京都市立美術大学専攻科修了

昭和36年4月から

京都市立美術大学助手

昭和47年3月まで

昭和47年4月から

京都市立芸術大学助教授

昭和59年3月まで

昭和59年4月から

京都市立芸術大学教授

平成11年3月まで

平成9年4月から

京都市立芸術大学美術学部長

平成11年3月まで

平成11年4月から

京都市立芸術大学名誉教授

現在まで

平成11年4月から

京都市立芸術大学副学長

平成16年3月まで

平成17年1月から

京都市学校歴史博物館長

現 在まで

2 受賞

平成4年	京都府文化賞功労賞
平成7年	日本芸術院賞
平成11年	京都市文化功労者
平成14年	日本芸術院会員
平成17年	紺綬褒章
平成19年	紺綬褒章
平成23年	京都府文化賞特別功労賞
平成25年	文化功労者
平成26年	紺綬褒章
令和2年	旭日中綬章、紺綬褒章
令和4年	文化勲章

3 業績

氏は、我が国を代表する花鳥画の第一人者として、斬新な造形・色彩感覚、独自の世界観で磨かれた数多くの優れた作品を創作されている。

伝統的な装飾性や様式性を継承しつつ、広々とした空間表現によりリアリティを迫る作風は、国内外で極めて高い評価を得ている。

これらの功績が認められ、文化勲章、旭日中綬章を受章、日本画壇を代表する存在として、尊敬の的と仰がれるべき輝かしい御活躍をされている。

本市においても、京都市立芸術大学副学長等を歴任され、永きにわたり後進の育成に力を注がれている。また、京都市学校歴史博物館長として、京都が国に先駆けて創設した「番組小学校」をはじめ、地域と共に取り組んだ先進的な教育の歴史や、日本画・花鳥画の魅力を館長談話室の開催等を通じて精力的に発信されるなど、京都の文化芸術の振興、教育史の継承にも多大な御貢献を賜っている。

(総合企画局市長公室)